

---

# 2056年宇宙の旅

ガラクタ・エントツ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

2056年宇宙の旅

### 【Nコード】

N7347P

### 【作者名】

ガラクタ・エントツ

### 【あらすじ】

21世紀の3つの時代の物語の1つ。『2056年宇宙の旅』資源開発が進んだ木星の衛星エウロパ。衛星軌道には、通称木星学園と呼ばれる若者ばかりのステーションが建設されていた。そこでの繰り広げられる学園生活とは。

## 設定（前書き）

21世紀の二つの時代の物語。『2036年宇宙の旅』 『2056年宇宙の旅』 『2058年宇宙の旅』を連載しています。

## 設定

時代は2050年代。

2030年代後半に行われた外惑星系の開発は、多くの犠牲を払いながらも、成功をおさめた。

早くも、2040年代前半から外惑星系の資源開発は、商業ベースで採算が取れるようになった。

木星からはヘリウム3を、その衛星エウロパから水を、土星の衛星タイタンからは有機物を、月や小惑星からは金属を採取した

豊富な資源を元に、人類は宇宙開発を進めた。

月には100万人もの人々が住み、木星・土星の軌道上には、各国の大型ステーションが建設され、衛星や小惑星では資源採掘がおこなわれていた。

しかしながら、相変わらず、外惑星開発には、大きな問題があった。

人工冬眠が出来るのは、技術上の制約から、未成年とイレギュラーと呼ばれる一部の大人だけであった。

そのため、外惑星開発の中心は、特殊な訓練を受けた未成年が中心となった。

木星軌道上になる日本の有人巨大宇宙ステーション「ゆめ」。

宇宙ステーション「きぼう」は、乗員の98%が未成年であることから通称、木星学園と呼ばれていた。乗員たちは生徒と呼ばれ、学業の代わりに労働していた。

## 設定（後書き）

まったり、進みます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7347p/>

---

2056年宇宙の旅

2010年12月31日07時51分発行